

平成29年2月24日

保護者の皆様・地域の皆様

仙台市立南吉成小学校  
校長 後藤 景子

## 「共に南吉成の子供たちのために」

厳冬の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、12月に実施した学校評価アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。

今年度より、地域の皆様にもアンケートを実施し、【協働型重点目標】の本来の趣旨である「学校・家庭・地域それぞれが取り組んだことに対して、どのくらい達成したのか」を明らかにするように変更いたしました。

「地域の大人同士の交流のため積極的に地域の行事に参加したい。」「大人から進んで挨拶している姿を見せるべき。」など、ただ学校に任せるだけでなく、地域や家庭も「共に南吉成の子供たちのために」できることをするのだというご意見が多くなってきました。回答率も70%、80%、84.5%と年々上がってきており、学校と家庭と地域で連携していくことの大切さを確認することができました。ありがとうございました。

この度、保護者・児童・職員・地域のアンケート結果をまとめ、2月中旬に行われた「学校評議員・学校関係者評価委員会」の資料としました。そのときにいただいた委員の皆様からのご意見もお知らせいたします。

今後はこの結果を基に、保護者の皆様と共に、よりよい南吉成小学校にしていきたいと考えております。これからも、お子さんのこと、学校のことなどでお気付きのことがありましたら、遠慮なくお話いただければ幸いです。本校の教育活動に対し、これまで同様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

### 1 平成28年度の重点事項

- ・学ぶ力の向上・・・豊かな学力の定着（学習習慣の確立、考えを表現し学び合う）
- ・関わる力の向上・・・心のふれあう豊かな関わり（あいさつ運動の拡大）
- ・体力の向上・・・体育の充実と生活化（外遊びの奨励）

↓

【協働型重点目標】※学校・家庭・地域でそれぞれ取り組む目標

- ①自分から挨拶をする子の割合を全児童の75%以上にする。
- ②一日一回以上校庭で遊ぶ子の割合を全児童の75%以上にする。

### 2 アンケートの結果について

#### 【加重平均値の算出方法及び平均値(得点)の見方】

○加重平均値の算出方法

「A」（よく当てはまる）・・・+10点      「B」（やや当てはまる）・・・+5点  
「C」（あまり当てはまらない）・・・-5点      「D」（当てはまらない）・・・-10点

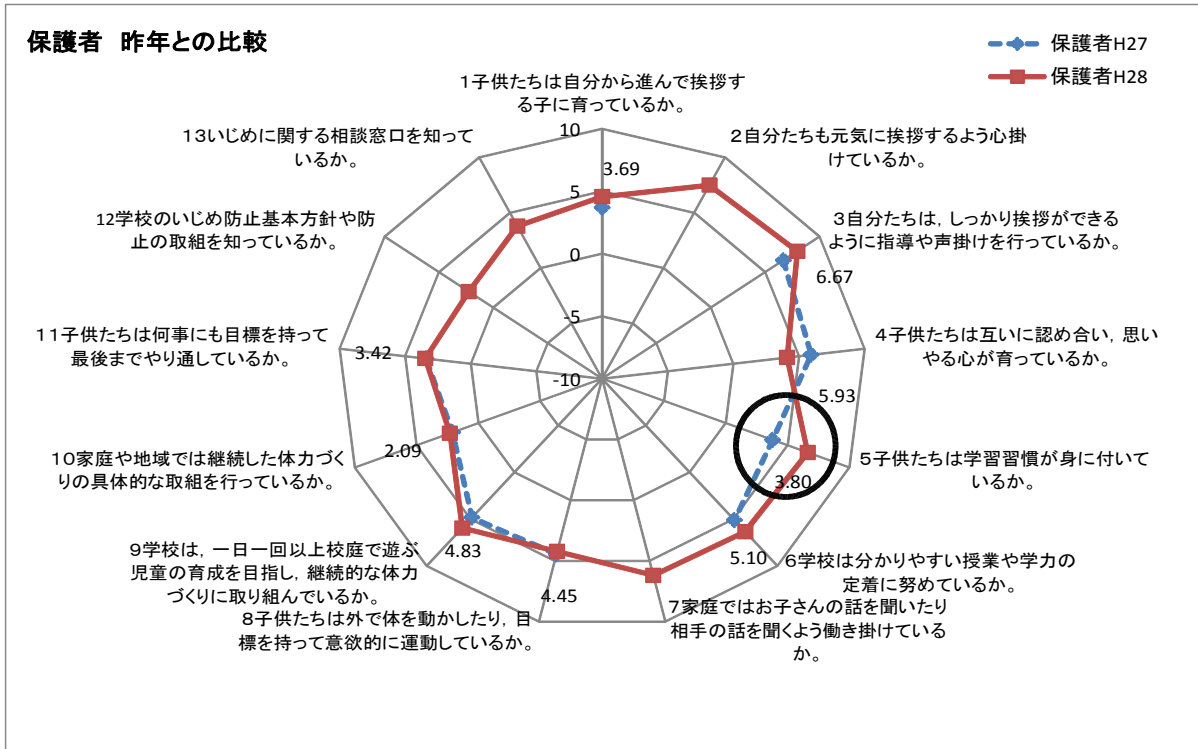
※上記の得点を加点后、各項目の合計得点を件数（無回答を除く）で割った値が加重平均値となる（小数点第二位まで算出）。

○加重平均値の見方

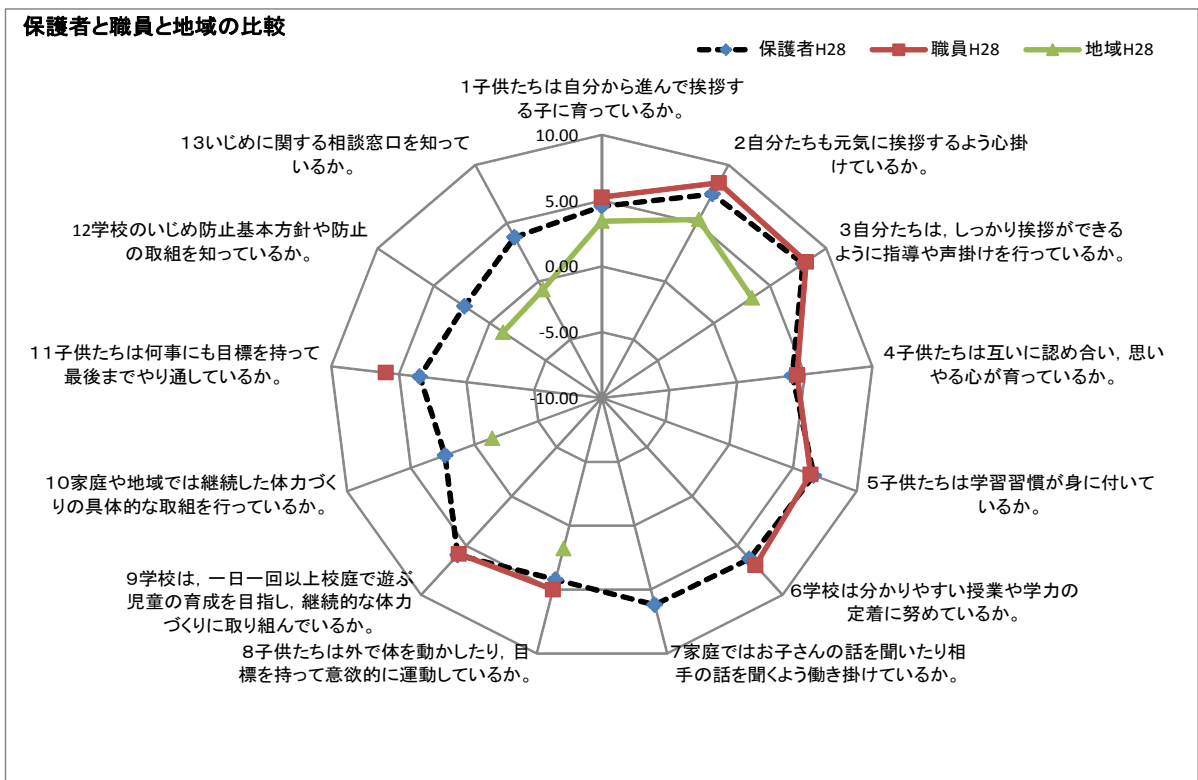
プラス値は「当てはまる」の領域にあり、逆にマイナス値が「当てはまらない」の領域に入る項目となります。例えば、5.02点であれば、平均して「B」（やや当てはまる）」に近い回答であり、7.50点では平均して「A」（よく当てはまる）「B」（やや当てはまる）の中間ぐらいの回答であるとみることができます。

(1)アンケート結果

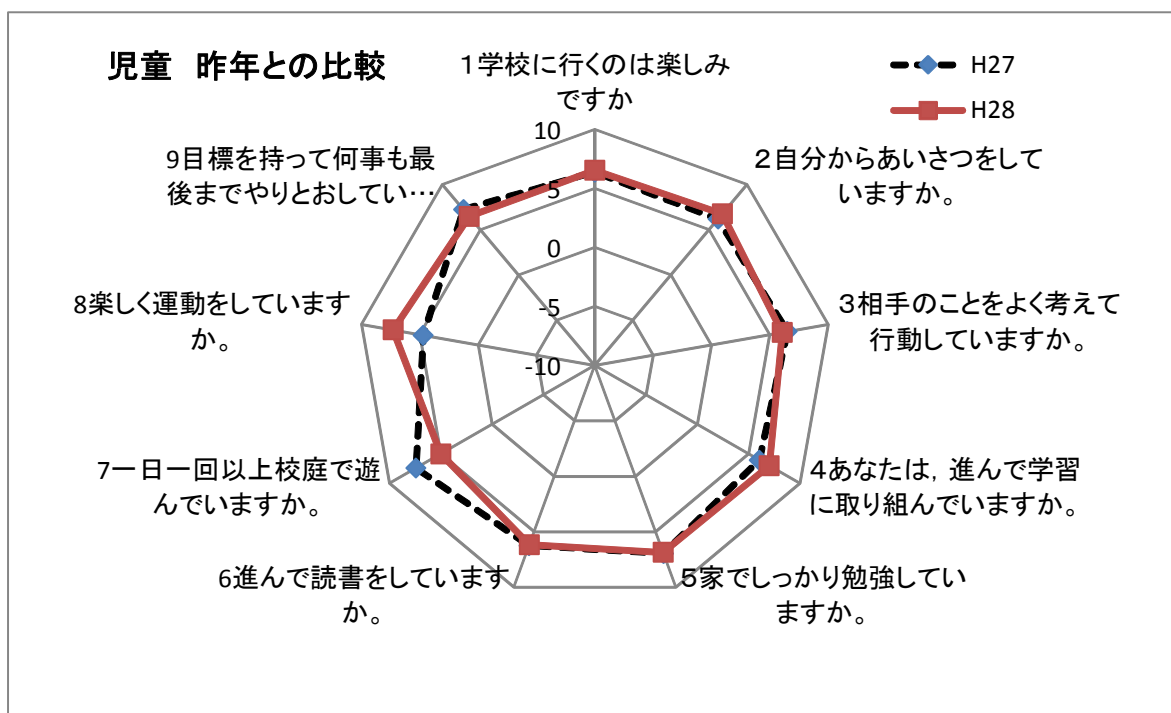
○…昨年度比プラス 2.5 以上の項目



- 保護者は、挨拶や家庭学習について家庭でもしっかり取り組んでいることが分かりました。
- 外遊びの奨励については学校での取組は評価しているが、家庭では具体的な取組まで行かないことが多かったことが分かりました。
- 思いやりの心について我が子に厳しい評価をしているのは期待の裏返しと思われる。



- 「挨拶」について数年取り組んできた成果が学校と家庭の結果から分かります。地域については今年度から実施したため、ご理解ご協力いただけるための働き掛けが不十分だったことがあげられます。
- 「思いやり」「最後までやり遂げる」項目について学校も家庭も低い評価となっています。



- 「楽しく運動をしている」という項目がとても伸びたのは、体育学習の充実と体育の生活化を図ってきた成果と捉えています。
- 校庭で遊ぶ児童は、学年が上がるほど少なくなり、全体的に見ると去年より下がってしまいました。

## (2)アンケートの分析と今後の方向性

### **挨拶に関しては一定の成果が出たと考えます。**

- 協働型重点目標にある「自分から挨拶をする児童の割合を75%にする」について、学校・家庭では大人から進んで挨拶をするなどの取組を行いました。地域の方にも意識してもらえるようになりました。その結果、90%の児童が「自分から挨拶している」と評価しています。数年間の取組で一定の成果が出たと考えます。地域や家庭からは、よく挨拶しているとの声が多数寄せられた反面、以前より地域での挨拶が少なくなったとの声も挙げられました。個人差もありますが、今後とも挨拶に関する指導は続けていくことが大切です。

### **体力づくりは今後いろいろな機会を利用します。**

- 協働型重点目標にある「一日一回以上校庭で遊ぶ児童の割合を75%にする」について学校では体育学習を全校で研究し、運動の楽しさや喜びをを味わい、進んで運動に取り組む児童の育成を目指しました。その結果、児童アンケートの「楽しく運動しているか」については昨年度と比べとてもよい結果となりました。しかし、家庭での体力づくりに関しては、今年度も低い数値でした。地域からも、運動的行事への積極的な参加を望む声がありました。各家庭で取り組んでいることや学校で行っていることを知らせながら、日常的に体を動かす環境を整える必要があると感じました。

### **思いやりや最後までやり遂げる項目の評価が低いことを重く受け止めます。**

- 学校や家庭のアンケート結果で毎年低い評価となっているのが「思いやり」と「最後までやり遂げる」項目です。これらは、学校生活はもとより今後生きていく上で大切なことです。学校、家庭ではこれまでもそれぞれに取り組んできましたが結果につながっていません。地域の力も借りながら、協働的に取り組む時期が来ていると深刻に受け止めています。
- 今年度からいじめの取組等についての項目を入れました。明らかに学校からの「いじめに関する相談窓口」や「いじめ防止基本方針」に関する情報提供が不足していましたので、今後は、地域の方にも学校の現状や取組をお知らせしていきます。そのことで、いじめを地域全体で防止していくことにつながれると考えます。

### 3 アンケート結果を受けた来年度の取組について(『協働型重点目標』の変更)

#### (1)「学ぶ力の向上」に関して

【学校の評価】…「子供たちは学習習慣が身に付いているか」 5.89(H27)→6.38(H28)

…「分かりやすい授業や学力の定着に努めているか」 6.88(H27)→7.00(H28)

- ・進んで読書する子供を育てたい。
- ・学力向上を大切にしたい。
- ・豊かに感情表現できる子に。
- ・話をしっかり聞けることが一番大切。
- ・自分のこととして課題を捉える力が必要。
- ・自分の考えを言葉で表現できるように。

【保護者の評価】…「学習習慣が身に付くよう声掛けをしているか」 3.80(H27)→6.64(H28)

…「学校は分かりやすい授業に努めているか」 5.10(H27)→6.34(H28)

- ・学校に楽しく通っている。
- ・授業参観がよい機会。展示物を見るのも楽しみ。
- ・自分たちで考え、行動する力がすばらしい。
- ・勉強が分からないまま帰宅することがある。
- ・興味を持っていることを追究してほしい。
- ・学力の定着が大事。
- ・授業時間の増加を。
- ・家庭での声掛けも限界がある。宿題はこれからもお願いしたい。
- ・宿題の質量再考を。
- ・ゲーム、スマホ、インターネットとの付き合い方を考える機会を設けてほしい。
- ・「いっしょに国語」がよい機会になる。
- ・家庭学習を親子で楽しみながら一緒に。
- ・外で遊ぶ時間を設け、学習に取り組ませている。
- ・家庭学習の時間と場所を決めている。
- ・習い事と自主学習が重なるときに時間管理をさせる。
- ・勉強はテレビを消して行う。
- ・オンとオフの切り替えを。
- ・分からなくてもすぐに正解を教えず、自分で調べさせる。

#### 【学ぶ力の向上に関する学校の今後の取組】

**深く考え、豊かに表現することで学び合い、高め合う活動を工夫していきます。**

- ・基礎基本の定着が前提となる。分かりやすい授業を展開していく。
- ・課題を明確にして、誰も自分のこととして考えられるようにする。
- ・自分なりの言葉で表現できるように、じっくり考える時間を確保する。
- ・友達の考えを自分と比較しながら聞かせることで、学びの質を高めていく。

**安心して学べる学習環境(ユニバーサルデザイン)を整えていきます。**

- ・見やすい板書を心掛ける。
- ・視覚に訴える教具、資料を活用する。

【学ぶ力の向上に関して家庭で取り組んでもらうこと】 …12月に自己評価をしてもらいます。

- ・家庭学習が身に付くような環境整備(時間・場所など)
- ・家庭学習の保護者による確認
- ・具体的な励ましの声掛け

【学ぶ力の向上に関して地域にお願いしたいこと】 …12月に自己評価をしてもらいます。

- ・授業参観(年3回)、学校参観(例年7月の第1土曜日)に足を運んでいただきたい。
- ・ゲストティーチャーに参加して、子供たちとふれ合い、指導していただきたい。

#### (2)-1「関わる力の向上」に関して(挨拶)

【学校の評価】…「子供たちは進んで挨拶する子に育っているか」 3.09(H27)→5.26(H28)

…「教職員も元気に挨拶をするように心掛けているか」 →8.46(H28)

…「学校では、しっかり挨拶の声掛け等を行っているか」 7.42(H27)→8.21(H28)

- ・登下校もしっかり挨拶している姿がある。
- ・高学年が挨拶の手本となっている。
- ・挨拶が全体的に良くなってきている。
- ・挨拶は今後も継続していく必要がある。
- ・継続的な大人の声掛けが必要。

- 【保護者の評価】…「子供たちは進んで挨拶する子に育っているか」 3.69(H27)→4.56(H28)  
 …「保護者も元気に挨拶をするように心掛けているか」 →7.49(H28)  
 …「家庭では、しっかり挨拶の声掛け等を行っているか」 6.67(H27)→7.95(H28)

- ・上級生に挨拶されると気持ちがよい。 ・挨拶ができている子が多いのでこれを継続。
- ・学校に行くと挨拶が気持ちよい。 ・立哨当番で挨拶をよくされる。(逆の意見も)
- ・挨拶する子が増えてきて良い傾向。(逆の意見も)
- ・保護者と子供と一緒に朝の挨拶運動をしてみたい。保護者も挨拶を心掛けるのでは。
- ・不審者情報もあり、子供から声を掛けにくい。ぜひ地域の方からも声を掛けてほしい。
- ・中学生でも挨拶をする子がいて小中のつながりを感じる。縦割りは続けてほしい。
- ・挨拶をしっかりと返せるように教えている。 ・立哨当番のときに全員に挨拶している。
- ・家族で近所の人に会ったら大きな声で挨拶するようにしている。

- 【地域の評価】…「子供たちは進んで挨拶する子に育っているか」 3.44(H28)  
 …「地域の人も元気に挨拶をするように心掛けているか」 5.32(H28)  
 …「地域では、しっかり挨拶の声掛け等を行っているか」 3.39(H28)

- ・通学路で元気に挨拶をしてくれる。(逆の意見あり)
- ・挨拶は知らない人にまで必ずするようには言えない。
- ・子供は親を見て育つ。親から積極的な挨拶を。
- ・地域では親同士の挨拶も少ない。親がきちんとしているかが子供に影響する。
- ・廃品回収など子供たちが各戸に声掛けしてもよいのでは。
- ・我が子が中学生のとき小学生と一緒に挨拶運動した。継続した取組は良いこと。

## (2)-2「関わる力の向上」に関して(思いやる心)

- 【学校の評価】…「子供たちは思いやる心が育っているか」 5.47(H27)→4.43(H28)

- ・相手の立場になって考えることが大切。 ・みんなで見守っている姿勢を伝えていく。
- ・縦割り活動など学年を越えたつながりが良かった。

- 【保護者の評価】…「子供たちは思いやる心が育っているか」 5.93(H27)→4.09(H28)

- ・男女仲がよい。 ・素直な子が多い。 ・人を傷付ける言葉を言うのを止めてほしい。
- ・縦割りのおかげで先輩後輩の関係が身に付いてきている。
- ・相手の気持ちを思いやれる子になってほしい。 ・言葉遣いを注意させたい。
- ・善悪を判断して行動できる子供に育ってほしい。 ・友達の個性を認められる子になってほしい。 ・お互いを認め合える気持ちを育てたい。 ・夕食時に家族で一日あったことを話す機会を設けている。 ・感情のコントロールが大切。 ・いじめのない関係を作らせたい。
- ・人の話をよく聞いてから答えるように教えている。
- ・家庭で友達と遊んでいるときに席を外して様子を見るようにしている。
- ・家庭でも子供の話に耳を傾け会話を増やし、心を育てるよう努めたい。
- ・いじめは絶対いけないと家でも話し合っている。
- ・親子の絆を深め、親が思いやりのある行動を示していく。
- ・学校から帰ってきたときの表情を見るようにしている。

## 協働型重点目標1の変更

挨拶だけに限定せず、アンケートで評価となった「思いやりの心」についても、学校・家庭・地域が協働的に取り組んでいきたいと考えます。

そこで来年度の協働型重点目標1を「自ら進んで挨拶する子」から『誰にでも公平に関わる子供』と変更します。学校が取り組むこと、家庭で取り組んでもらうこと、地域にお願いしたいことをそれぞれの立場で実践して、「共に南吉成の子供たちのために」力を合わせたいと思いますのでよろしくをお願いします。

### 【「誰にでも公平に関わる子供」に関する学校の今後の取組】

#### 互いを認め合う学級づくりを通していじめの根絶を目指します。

- ・友達の多様な良いところや頑張りを見付け、認め合う活動を習慣化させる。
- ・言葉での交流（語り合い）を増やし、コミュニケーション力を付けさせる。
- ・言葉遣い（正しい・気持ちのよい）を身に付けさせる。

#### 道徳教育の充実を図ります。

- ・クラスの実態、児童の実態に応じて、題材を入れ替え、必要感・切実感に迫る。
- ・相手の気持ちを考える場面を持つ。
- ・家庭と連携し、日常でも実践できるような道徳性を育てていく。

#### これからも中学校との連携を図りながら、挨拶運動を行います。

- ・挨拶の重要性については、継続して指導していく
- ・今後も定期的に挨拶運動を行い、連携に努める。

### 【「誰にでも公平に関わる子供」に関して家庭で取り組んでもらうこと】

…12月に自己評価をしてもらいます。

- ・親から率先して近所に挨拶。
- ・互いを尊重する言葉遣い。
- ・親子のコミュニケーション。

### 【「誰にでも公平に関わる子供」に関して地域にお願いしたいこと】

…12月に自己評価をしてもらいます。

- ・地域の方からも、積極的に児童への声掛けと指導をお願いしたい。
- ・登下校中、公園等で遊んでいる様子なども見守り、声掛けをお願いしたい。

### (3)「体力の向上」に関して

【学校の評価】…「外で体を動かしたり、目標を持って運動しているか」6.06(H27)→5.00(H28)

…「学校は、一日一回以上校庭で遊ぶ児童を目指し継続的な体力づくりに取り組んでいるか」5.16(H27)→5.83(H28)

…「何事にも目標を持って最後までやり通しているか」5.00(H27)→5.97(H28)

- ・体育の授業研究が参考になっている。 ・寒くなってきたからの運動の手立てが必要。
- ・休み時間に体を動かす時間が物理的に取れないことが多い（高学年）。

【保護者の評価】…「外で体を動かしたり、目標を持って運動しているか」4.45(H27)→4.22(H28)

…「家庭では継続的な体力づくりに取り組んでいるか」2.09(H27)→2.30(H28)

…「何事にも目標を持って最後までやり通しているか」3.42(H27)→3.46(H28)

- ・協働型目標を知り、家庭でも取り組むようになった。
- ・縄跳びカードやマラソンカードのようなものを作り、取り組ませたい。
- ・学校の外遊びのルールを親にも教えていただきたい。
- ・すぐにくじけない心を育てたい。 ・最後までやり遂げる姿勢を伸ばしたい。
- ・目標に向かって頑張り、達成できる喜びを知ってほしい。 ・心と体を鍛えてほしい。
- ・嫌なことや面倒なことにも挑戦する精神力を養ってほしい。
- ・休日でもできるだけ外遊びをするように声掛けをしている。 ・父と一緒に走っている。
- ・イベント等には家族で参加。町内会の行事にもできるだけ参加している。
- ・野外キャンプなどにも家族で出掛け、他者との関わりを多くしている。
- ・親子で一緒に楽しく体力づくりをしている。自然とコミュニケーションもとれる。
- ・休日は外で体を動かしたり、歩きや自転車と一緒に出かけたりしている。

- ・習い事で体を動かしている。
- ・公園の使い方は各家庭で指導を。
- ・地域の友好関係が大切だと思う。
- ・良い姿勢で勉強や食事をしている。
- ・習い事でスポーツマンシップを学んでいる。
- ・家族で運動する日を設定している。
- ・早寝早起き朝ごはんを実践している。

【地域の評価】 …「外で体を動かしたり、目標を持って運動しているか」 1.79(H28)  
 …「地域では継続的な体力づくりに取り組んでいるか」 -1.4(H28)

- ・体力不足が気になる。体力の充実が気力の充実につながる。
- ・公園で遊ぶ姿が見られてきた。(多数あったが、低学年のみという意見も。)
- ・町内会と子供会で話し合っていて考えていく必要がある。消防訓練を実施している地区あり。
- ・地域の大人が子供にスポーツの体験教室を開いてはどうか。
- ・老人会と子供会の交流行事で楽しく過ごしている。
- ・町内会や体育振興会の行事に親子で参加してほしい。

### 協働型重点目標2の変更

体力だけに限定するのではなく、心身共にたくましい子供の育成を目指して協働型重点目標2を「一日一回以上外で遊ぶ子」から『自ら心と体を鍛える子供』に変更します。  
 学校・家庭・地域といろいろな場所で豊かな活動を通して心身共にたくましい子供になることを目標とします。

### 【「自ら心と体を鍛える子供」に関する学校の今後の取組】

#### 学んだことを生活に生かして「体づくりの日常化」を図っていきます。

- ・授業で多様な運動に触れさせ、休み時間等、自分から挑戦できるような環境づくりを行う。
- ・自分で挑戦する目標を具体的に持ち、粘り強く取り組めるようにする。

#### 体育の授業を全校的に充実させていきます。

- ・校内で授業研究を継続し、運動する楽しさを味わわせる授業を目指していく。
- ・発達段階に応じた系統立てた指導を進める。

#### 給食指導と食育の充実を図ります。

- ・食べることが体をつくることにつながるということを学活等で指導する。
- ・食事のマナー、姿勢などの指導を徹底する。
- ・自校給食校という利点を生かし、テレビ放送などを活用し、実際の給食室の様子を伝えながら食の大切さを知らせる。
- ・食事は好き嫌いではなく、栄養のバランスを考えてとることで心身にどんな効果があるのかを具体的に知らせる。

### 【「自ら心と体を鍛える子供」に関して家庭で取り組んでもらうこと】

…12月に自己評価をしてもらいます。

- ・外遊びの奨励。
- ・徒歩通学で体力づくり。
- ・親子での運動への取組。地域行事への積極的参加。
- ・望ましい食習慣の形成。
- ・早寝、早起き、朝ごはんの実践。

### 【「自ら心と体を鍛える子供」に関して地域にお願いしたいこと】

…12月に自己評価をしてもらいます。

- ・町内会、子供会、体育振興会などの地域行事への参加呼び掛けをお願いしたい。
- ・公園等で遊んでいる児童の様子などを見守り、ときには指導をお願いしたい。

#### 4 自由記述のご意見について

今年度から地域の皆様からもアンケートを回収させていただきました。「落ち葉拾いやごみ拾い活動を見てうれしく思う。」「地域から見て、良い子に育てているので自信を持って指導してください。」「地域でも行事に参加してもらうよう積極的に呼び掛ける。」など、協働型本来の「子供たちのために学校・家庭・地域でそれぞれ取り組む」という趣旨のご意見をいただき、大変頼もしく感じました。

また保護者の皆さんからは学校の指導や児童の姿などに対して、たくさんの感謝や温かいお言葉をいただきました。忙しい中、お子さんの話に耳を傾けてくださっているからこそ、学校の様子が伝わっているのだと思います。ありがとうございます。これからも学校教育目標、目指す児童像の具現化に向けて、学習、生活面を通して全力で頑張っていきたいと思います。

親が手本になっていかなければというご意見が多くなってきています。運動会や授業参観等で保護者から職員へ挨拶している姿を見て子供たちは学んでいきます。また、授業参観での保護者の様子に苦言を呈す方も複数いらっしゃいました。数年前よりも静かに参観する方が多くなったために余計目立つのだと受け止めています。なお、これからもできるだけワークスペースではなく、教室の中にお入りいただいて参観していただくようお願いいたします。

また、学習面や生活面におけるご意見については、それぞれの担当で検討し、改善できる点については、すぐにでも生かしていきたいと思っております。

登校時や下校後の児童の生活の様子を心配するご意見もいただきました。さっそく学校でも指導いたしますが、地域で子どもを育てるという観点から、どうぞ保護者の皆様・地域の皆様もその場でのご指導をよろしくお願いいたします。

さらに学校からの情報発信についてご意見をいただきました。学校からの連絡や学校・学級の様子を伝えていくことは、家庭や地域との連携という点でも大切です。HP、ブログ、お便り等を活用してできる限り取り組んでまいります。特に今年度より設問した「いじめ」については、すでに学校便りで再度情報提供いたしました。HPにも掲載しておりますので、ご覧いただきますようお願いいたします。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。保護者の皆様にいただきましたご意見は真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。



## 5 学校評議員・学校関係者評価委員のご意見について

### (1) 今年度の【関わる力の向上＝挨拶】の取組について

- ・挨拶については目標を達成したと見てよいのではないか。
- ・低学年の子供も顔を見て挨拶をしている。
- ・高学年から低学年まで挨拶していて良い。
- ・挨拶はほどほどに良い。
- ・これからも小中で連携を取り合っていく。
- ・校内では気持ち良い挨拶をされる。代表委員会でも挨拶が議題に上がっているようなので良いと思う。
- ・大人から声を掛ければほとんど返ってくる。良い取組だ。
- ・大人がご近所さんに挨拶するかが問題。子供は大人の鏡。見本にならなくては。
- ・地域の方は挨拶+αの声を掛けると不審者と思われるのではないかと心配している。  
※家の前、玄関や庭先から下校時刻に合わせて声を掛けると不審に思われぬ。

### (2) 今年度の【学ぶ力の向上】の取組について

- ・本日の授業参観がとても素晴らしい。落ち着いて授業が行われている。
- ・授業を分かりやすく工夫してくれていて、家でも楽しかったことは話をしてくる。
- ・教えるというよりも導く授業をしてくれている。自分の言葉で伝えるよう指導している。
- ・二分の一成人式で各自が自分の言葉で表現している姿に感動した。

### (3) 今年度の【体力の向上】の取組について

- ・児童館から見ているが、よく遊んでいるし、体を鍛えようとしていると思う。ただし遊ぶ子と遊ばない子の二極化が見られる。
- ・家庭に帰ってからは、今の時期、暗くなっているので外遊びは難しい。
- ・体力は一年ではなく、数年継続していくことで向上していくものだと思う。
- ・大なわ大会など目標があると努力できるのではないか。目標を設定することが大事。
- ・学校では子供たちに外遊びの声掛けをよくしている。本人は気分が優れないときには、学校の森で静かに過ごしているようだ。
- ・上学年になると中での遊びにも興味が広がってくる。

### (4) 来年度の「協働型重点目標」について

#### 【誰にでも公平に関わる子供】

- ・今年の結果を基に考えられている。
- ・思いやりが低いのは、ライバル意識が芽生えたことにも関係があるのかも知れない。
- ・子供たちは自己評価が厳しいのかもしれない。思いやりのある子もいる。
- ・中学校でも、思いやりや最後までやり遂げることにっては低い傾向がある。
- ・話し言葉については、相手のことを考えないで使っているときが見られる。
- ・公平の捉えについて、「正しい言葉遣いをする」など具体的な姿を行動目標として表せば家庭にも子供にも伝わりやすく、取組・評価しやすいのではないか。
- ・親の立場からの視点が入る分、評価は難しいと思う。
- ・学級で行っている友達の良いところを見付ける活動は、継続してほしい。
- ・思いやりの心や言葉遣いに関して、重点的に取り組むことでいじめもなくなるのではないか。
- ・いじめは昔からの問題だが、今はインターネットなどでも広がってしまい、ほどほど

がなくなっている。いじめられる側にならないようにいじめる側につこうとする気持ちもあるのではないかな。

**【自ら体を鍛える子供】**

- ・親の評価が低いのは、学校でびしっとしている分、家庭ではだらっとしている姿を見ているからではないかな。
- ・自ら考えるという点がとても良い。
- ・自分を律することが難しいからこそ、学校・家庭・地域で取り組む価値がある。
- ・児童館でも「挨拶」「命」「思いやり」を目標にしている。

**「誰にでも公平に関わる子供」に関して**

**【家庭でできること】**

- ・「大人になったらもっと厳しいのだから、こんなこともできなければだめ。」ではなく、自分の人生・将来へ希望が持てるような助言を。「大人になったら大変だけど、自分の足で歩き、切り開いていく楽しさもあるよ。」
- ・親近感から「なれ合い」になり、配慮の足りない言葉になることがあるので気を付ける。
- ・家庭でも言葉遣いに気を付けたい。

**【地域でできること】**

- ・玄関先で水やりをしながらでも声を掛ければ、不審者とは思われないし、顔見知りになれる。

**「自ら心と体を鍛える子供」に関して**

**【家庭でできること】**

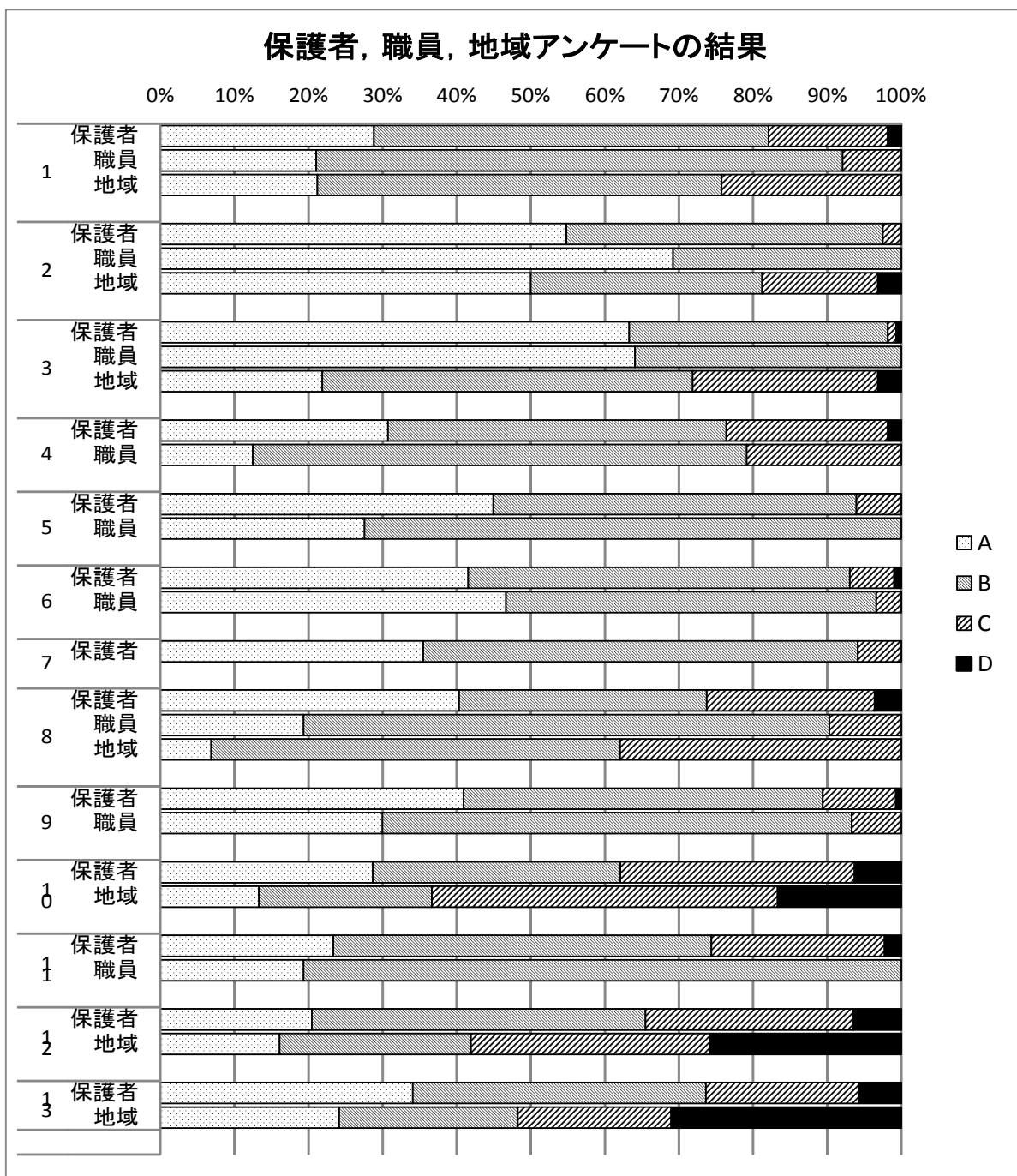
- ・体力が基本。そうすることで気力が出てくる。我慢強さや粘り強さを育てていく。
- ・ちょっと怒っただけですねる大人もいる。怒られ慣れていない。ある程度、正しい競争や負荷も必要なのではないかな。

**【地域でできること】**

- ・子供たちの下校時刻に合わせて、庭先や駐車場に出て、声掛けや見守りをする。

**資料 アンケート結果（保護者・職員・地域）**

- 1 南吉成小の子供たちは自分から進んで挨拶する子に育っているか。
- 2 自分たちも元気に挨拶するように心掛けていたか。
- 3 自分たちは、しっかり挨拶ができるように指導や声掛けを行っているか。
- 4 子供たちは互いに認め合い、思いやる心が育っているか。
- 5 子供たちは学習習慣が身に付いているか。
- 6 学校は分かりやすい授業や学力の定着に努めているか。
- 7 家庭ではお子さんの話を最後まで聞いたり、相手の話を最後まで聞くよう働き掛けているか。
- 8 外で体を動かしたり、目標を持って意欲的に運動しているか。
- 9 学校は、一日一回以上校庭で遊ぶ児童の育成を目指し、継続的な体力づくりに取り組んでいるか。
- 10 家庭や地域では継続した体力づくりの具体的な取組を行っているか。
- 11 何事にも目標を持って最後までやり通しているか。
- 12 学校のいじめ防止基本方針や防止の取組を知っているか。
- 13 いじめに関する相談窓口を知っているか



**資料2 アンケート結果（児童）**

- 1 学校へ行くのは楽しみですか。
- 2 自分からあいさつしていますか。
- 3 相手のことをよく考えて行動していますか。
- 4 あなたは、進んで学習に取り組んでいますか。
- 5 家でしっかり勉強していますか。
- 6 進んで読書をしていますか。
- 7 一日一回以上校庭で遊んでいますか。
- 8 楽しく運動に取り組んでいますか。
- 9 目標を持って何事も最後までやり通していますか。

